



## 平成30年度に向けて

松浜病院 病院長 小 熊 隆 夫

昨年末に発表された平成29年の「今年の漢字」は「北」でした。隣国の暴走を何とかしようと国際社会が協力して対処していますが、どうも一枚岩ではないようです。たびたび鳴った警報に不安を感じた方も多かったと思います。しばらくは推移を見守るしかないのですが、早期の解決が望まれます。そんな中もうひとつの隣国韓国では平昌オリンピックが開催され、日本選手の活躍と興奮のうちに無事閉幕しました。南北の融和ムードの醸成という政治的な動きも垣間見えましたが、各国の一流選手がすばらしいパフォーマンスを見せてくれたことにただ感謝したいと思います。2020年には東京オリンピックが開催されます。オリンピックの本来の目的である「スポーツを通じて平和な世界の実現に寄与する」に立ち返り、全世界が平和の中でこの祭典が開催されることを望みます。

さて、当院では「入院医療中心から地域生活中心へ」（地域移行）という国の基本理念に則し、今年1月より本館2病棟を精神療養病棟から「地域移行

機能強化病棟」に変更いたしました。患者さまやご家族の皆さまには既にお伝えしてあるとおりでありますが、入院が長期にわたる患者さまの「地域移行」＝「退院」を促進するために、精神保健福祉士などの人員を専従で配置し、きめ細かな退院支援を行うことで、患者さまがスムーズに地域生活への移行をできるようにしていく病棟です。今年は診療報酬・介護報酬のダブル改定が行われました。医療・介護どちらも、少しでも多くの方を地域生活ができるようにしていくという意識が強く感じられる改定となりました。今後も医療政策の流れを意識しながら、患者さまに寄り添い必要な医療を提供していく所存です。また、当院に関係する全ての人々の人権を尊重しつつ質の高い医療サービスを提供して患者さまやご家族、地域の皆さまから一層信頼される病院を目指します。今後も引き続きご家族や地域の皆さまのご理解とご協力をお願いしたいと思っております。

なにとぞよろしくお願い申し上げます。

### <松浜病院の中長期的展望>

- 1) 若手人材の確保と育成を行なう
- 2) チーム医療の推進と診療の質の向上を目指す
- 3) 栄養科施設を含めた新病棟の設備を行なう
- 4) 情報システム機能の円滑な運用を行なう

### <松浜病院の平成30年度目標>

- 1) 長期入院患者の退院促進を進め、地域移行機能強化病棟の安定的運用を図る
- 2) 適切な病床管理を行うとともに、チーム医療を通じて病床利用率及び回転率の向上を図る
- 3) 迅速で正確かつ安全に心がけ職務を実行する
- 4) より良い接遇を行い、患者サービスの向上を目指す
- 5) 職務の中での経費、時間の節約と効率的な利用を行う
- 6) 若手人材の確保と育成を行うとともに、全職員の教育・技能向上を援助する

# OTプログラム 《SST》の紹介

いつもありがとうございます。松浜病院OT室です。今回も様々なOTプログラムの中の一部をご紹介します。

**SST** SSTとは**Social skills training**の略で社会生活技能訓練のことを指します。社会生活技能と言われると堅苦しい印象を受けるかもしれませんが、言い方を変えてみると、人との関わり方を練習したり、生活の中の困った場面を話し合ったりしながら、自信を持って生活できるようになることを目的としています。今まで行った訓練の例としては「友達に飲みに誘われ断れず節約出来ない」という悩みに対して「誘いを上手く断る」をテーマに練習をしたり、「相手が忙しい状況に気付かず話しかけてしまい気まずい思いをする」という悩みに対して「GOサインNOGOサインを見極める」をテーマに練習をしたりしてきました。このように身近でなげない悩みを話し合うため「自分にも当てはまるかも？」といった気付きに繋がったりもします。興味のある方はぜひお気軽にお問い合わせください。



## 作業療法室を紹介します②

OCCUPAIONAL THERAPY

作業療法室 室長 近 英 樹

心の翼のご愛読ありがとうございます。今回もこの様な欄をいただきましたので、当院の作業療法室を紹介いたします。作業療法とは、心身の疾患や障害に対して作業（活動）を利用して行う療法であり、その専門集団が作業療法室スタッフとなります。当室では入院患者さまがいる各病棟と外来に専属スタッフを配置し、患者さまが入院から通院、また外来単独でも利用でき、症状や環境に合った高い技術のリハビリテーションを受けることができます。その中でも外来作業療法は、参加者が増え活気に満ちています。新規に導入した認知機能改善リハビリテーションを体験した方は、「車の運転が上手くなった」や「仕事で伝票処理が出来るようになった」などの喜びの声が聞かれ、満足度も高いようです。また各病棟内でも様々な集団及び個別のリハビリが行われており、ふまねっと（歩行改善リハ）や身体的リハビリテーションにも力をいれています。心身に病や悩みがあったとしても、皆様方がより良い生活が出来るよう安心・安全をモットーに全力でサポートしています。

## 地域連携室から

こんにちは

\*H30年1月より地域移行機能強化病棟が創設されました。今回は病棟専従の土田精神保健福祉士にインタビューしたいと思います。

### Q 地域移行機能強化病棟とはどのような病棟ですか？

A この病棟は長期入院の患者様が退院後も安心して社会復帰生活が送れるように支援する病棟です。

### Q 地域移行機能強化病棟の精神保健福祉士の業務内容を教えてください。

A 主に患者様の退院支援にあたっています。退院支援委員会を毎月行ったり、必要な方には介護保険の申請や施設入所の手続きなどの支援を行っています。また、療養生活上でお困りのことがあれば個別に相談対応しています。

### Q 最後に自己紹介をお願いします。

A 平成29年12月1日から勤務しています。子供がまだ小さくて、子育て中心の日々ですが、パソコンを触るのも好きで、子供の身長と体重のグラフを作ったり、子供の好きな動画を一緒に見たりしています。



☆これからも地域連携室・医療相談室一同みな様のお役に立てるよう努めていきたいと思っております☆

# 松浜病院デイケア「あっと歩夢」のご案内

## “デイケア”とは…

デイケアでは、外来通院されている方を対象に、日中の活動の場として、様々なプログラムを通して、規則正しい生活リズムや、日常生活上必要となる知識・技能、集団の中での対人関係を学び、地域で自分らしく生活することを目指しています。医師・看護師・臨床心理士・精神保健福祉士など多職種スタッフにより、患者様の社会復帰のお手伝いや日常生活のサポートを行っています。

なお、当院デイケアは他院通院中でもデイケアの利用が可能となりました。

詳しくは通院先の主治医もしくは当院デイケアにご相談ください。



平成29年度工芸部門審査員特別賞受賞作品  
【松浜の海】

## 就労支援プログラム

### ～リワークプログラム～

当院外来あるいは、リワークプログラムのない医院・クリニックに通院中で、うつ病などの気分障害、あるいは適応障害と診断されており、6ヶ月以内に復職や再就職を考えている方を対象に、心理教育やグループワークによる復職と再休職予防のリハビリテーションプログラムです。毎週月・水・金に実施しています。



### ～プレワークプログラム～

これから就労を考えている方を対象に、就労セミナーやグループワーク、ワークトレーニングなどにより、就労に必要な知識・スキルを学び、就労を目指すプログラムです。

当院デイケアでは、ハローワークと協定を結び、精神障害者の就労支援において連携していく事業を行っています。

上記の就労支援プログラムの他、スポーツ、カラオケ、お菓子作り、バス旅行など、患者様の目的に応じたプログラムの提供を行っています。また、創作活動にも力を入れており、昨年の新潟県障害者芸術文化祭にて、工芸部門の審査員特別賞を頂きました。

＜お問い合わせ先＞ 松浜病院デイケアセンター **あっと歩夢**  
☎ 025-258-8012 (直通)

## 新人紹介

### 松浜病院に入職して

東3病棟 看護師 長谷川 南

松浜病院に就職して一年半が過ぎようとしています。振り返るとあっという間だったなあと思う気がします。

以前は混合病棟の急性期で働いていました。重症患者様や寝たきりの患者様が多く身体の処置に追われ、また短い期間で退院していく方も多いので目まぐるしく忙しい毎日でした。松浜病院に転職し初めての精神科病棟で患者様と接したとき、どのように看護をしたらいいのかわからず不安な気持ちがありました。先輩方から丁寧に教えてもらい一つずつ仕事を覚えていくことが出来ました。いつでも親身になり相談に乗っていただきとても感謝しています。

精神疾患を抱えている患者様は症状のせいで様々な問題に直面しています。正直戸惑うこともありますが、それでも一生懸命に生きようとしている姿に私も元気をもらっています。これからも先輩方と患者様から学びながら看護をしていきたいと思ひます。

### 看護師1年目を振り返って

東4病棟 看護師 小林 忍

看護師資格を取得し、松浜病院に入職してから一年が経ちます。様々な出来事を経験し、あっという間であり、とても内容の濃い一年でした。

私は患者さんひとりひとりの声を聴き、個人に合った声掛け、対応が出来るようにと思っていましたが初めは何もわからず何も出来ず、わからないことが分からないという状態でした。どうしたらよいか悩んでいるとプリセプターをはじめ、先輩方が声を掛けてくれ、看護行為、仕事内容を懇切丁寧に教えてくれました。そのおかげで患者さんに対して、安全なケアを行えるようになりました。しかし、1日の業務で精一杯な為、患者さんの側で話をすることがなかなかできず、先輩方のように時間のマネジメントがうまくできません。私が目指す看護師にはまだまだ一年では届かないものだと痛感しました。

2年目になる今年は薬剤や知識、患者さんの側に居られる時間を増やし、目指す看護師に近づけるように気持ちを引き締め、より一層努力していきたいと思ひます。

# 松浜病院 外来診療担当表

(平成30年4月1日現在)

	月	火	水	木	金
精神科	小林	小熊	内藤	小林	小熊
	渡邊	佐々木	長谷川(精)	長谷川(精)	内藤
			渡邊	高橋(邦)	佐々木
内科	藤島		長谷川(勝)		藤島

【診療受付】 8:50~11:00 初診の方  
(月)~(金) 8:50~11:30 再診の方

【休診日】 土・日曜日と祝日

【精神科の診療は予約制です】

診療をご希望の方は、電話などで前日までにご予約を入れてください。  
ご不明な点がございましたら医事課受付までお問い合わせください。

【予約やお問い合わせ先】

☎ 025-259-3241 (医事課)



## 介護老人保健施設

## 松浜さくら園

松浜さくら園には一般棟と認知症棟の2つの入所フロアがあり、松浜病院の本館に併設されています。どちらのフロアも温かい言葉かけと優しいスキンシップ、安心・安全な看護・介護・リハビリテーションを目指し、日々ご利用者様と関わらせて頂いております。

一般棟と認知症棟の2つのフロアでは、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がそれぞれご利用者様の身体機能、認知機能の状態に合わせた個別リハビリテーションを行い、状態の維持・向上に努めています。また、外出・創作・料理などの集団リハビリテーションにも力を入れ、季節の行事も趣向を凝らして行っております。

イギリスのビバリッジ報告で有名な“ゆりかごから墓場まで”という言葉があります。さくら園としては、入所前から退所後まで利用者様とご家族様の支援をさせて頂いております。介護や制度等でお困りの事も多々あると思います。是非お気軽に声を掛けて頂き、相談をしながら、一緒に問題解決に向けて二人三脚で歩いていけたらと、常に心がけて相談援助を行っていますので、いつでも事務室にお立ち寄り下さい。

### ○お問い合わせ先

☎ 025-258-3993 (9:00~17:00)

FAX 025-258-3991

※お気軽にお問い合わせ下さい。

### ◎脳トレ / 虫食い算

- ① □ + □ = 6 [5・4・2]
- ② □ + □ + 3 = 14 [3・7・8・9]
- ③ □ + 12 - □ = 9 [4・6・9・5]
- ④ □ × 2 + □ = 26 [13・7・6・10]
- ⑤ 5 × □ - □ = 13 [7・8・21・27・23]

※ 解答は編集後記の下にあります。

## 居宅介護支援事業所 『ケアプランまっはま』

『ケアプランまっはま』は、「松浜病院」と「松浜さくら園」の併設で、本館1階にあります。

介護保険の利用をお考えの方は、ご相談ください。

- ◆ 介護保険の申請
- ◆ ケアプラン (居宅サービス計画) の作成
- ◆ ケアプランに基づいた在宅サービスの手配
- ◆ 介護保険による住宅の改修や介護用具利用の手配

【開所時間】(月)~(金) 9:00~17:00 (祝日は除く)

☎ 025-258-8010

## 編集後記

心の翼第13号が完成しました。おかげさまで今年には創立60年という節目の年を迎えます。今まで以上に、患者さま、利用者さま、地域のみなさまに貢献できるような、そんな病院を目指していく所存でございます。

心の翼で松浜病院・松浜さくら園の活動を広く知ってもらい、みなさまと一緒に患者さま、利用者さまの明るい未来づくりに邁進します。今後ともよろしくお祈りします。

編集発行 松浜病院 広報委員会

☎ 025-258-8009

$6 = 9 - 2I + 9$  ③      $3I = 22 - 8 \times 9$  ⑤      $92 = 9 + 2 \times 10$  ⑦  
 $14 = 3 + 3 + 8$  ②      $11 = 22 + 2 \times 10$  ⑩  
 (景樹) 真い専年/14 脚④      $9 = 2 + 7$  ①